

社会調査論特講

選択 2単位

花井 友美

1. 授業の概要(ねらい)

修士課程での修士論文作成及び学術研究論文の執筆においては、様々な調査によって得られたデータ・結果を読み取ること、適切にデータを収集し、分析することが必要とされる。本講義では、修士論文作成にあたり社会調査を行おうとする学生を対象とし、自分自身の関心に沿った社会調査を適切に実施し、分析するための基礎知識(社会調査の目的、各種調査方法の長所と短所、調査倫理など)を修得してもらうことを目的としている。さらに、授業内容を踏まえて、実際に調査の企画書を作成し、インターネットのアンケート調査作成システムを用いて、調査票を作成する。

2. 授業の到達目標

本講義を通して社会調査の基礎知識を学び、修士論文作成にあたり必要な調査を企画、実施することができるようになることを目標とする。具体的な到達目標は下記の通りである。

- ・社会調査の目的、各種調査方法の長所と短所、各種調査の実施の流れ、実施にあたっての注意点、調査倫理を説明できる。
- ・上記を理解した上で、実際に調査の企画書を作成し、インターネットのアンケート調査作成システムを用いて、調査票を作成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

出席及び講義中の質疑応答、議論 40%

授業内でのテキストの発表(第2回～第10回) 30%

調査企画書及びアンケート調査票の作成と発表(第11回～第15回) 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

轟亮・杉野勇 (2017)『入門・社会調査法[第3版]: 2ステップで基礎から学ぶ』 法律文化社

特定のテキストは使用しない。

参考文献

適宜紹介する。

盛山和夫 (2004)『社会調査法入門』 有斐閣ブックス

小田利勝 (2009)『社会調査法の基礎』 プレアデス出版

5. 準備学修の内容

上記テキストを熟読すること。受講者は最低1回テキストの一章の内容をまとめ、発表するので、その準備をすること。第10回～第14回の授業では各自の興味のあるテーマについて、インターネットのアンケート調査作成システムを用いて、調査票を作成すること。やり方については授業内で説明するが、各自課題として調査票を作成すること。

6. その他履修上の注意事項

授業のなかで教員と学生の間の議論を期待する。

受講者の内容理解度などにより、授業の進捗具合は変更の可能性はある。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション・講義の全体構成の解説
- 【第2回】 社会調査とは何か(社会調査の定義と目的、調査倫理)
- 【第3回】 社会調査の種類(質的調査と量的調査)
- 【第4回】 社会調査のプロセス
- 【第5回】 社会調査のデザイン(仮説及びリサーチクエスションの立て方)
- 【第6回】 実査の方法(データ収集の方法)
- 【第7回】 調査票の作成(1)(質問項目の形式)
- 【第8回】 調査票の作成(2)(ワーディングにおける注意点)
- 【第9回】 サンプリング
- 【第10回】 調査の実施(依頼とお礼)
- 【第11回】 演習(1)(調査企画書の作成)
- 【第12回】 演習(2)(質問項目の作成)
- 【第13回】 演習(3)(アンケート調査票の作成)
- 【第14回】 演習(4)(アンケート調査票の作成)
- 【第15回】 調査企画書及びアンケート調査票の報告会